

2025 年度 九州若手数学者研究成果賞（受賞理由の確認）3 名

## 第 1 回九州若手数学者研究成果賞受賞者と受賞題目・受賞理由

1. 柴田修平・九州大学大学院マス・フォア・イノベーション連係学府・M2

業績の題目： エレファントランダムウォークの衝突問題と極限定理

受賞理由： 柴田氏は、長期記憶をもつ非マルコフ確率過程の代表例であるエレファントランダムウォークの時間無限大での極限挙動の解明を中心的課題として研究を行っており、記憶パラメータの異なる2体のエレファントランダムウォークの衝突現象に関する研究成果を論文として発表している。多くの研究集会において積極的に講演を行っている同氏は、成果賞を受賞するに相応しい研究活動を行っている。

2. 徐梓健(Xu Zijian)・福岡大学理学研究科応用数学専攻・D2

業績の題目： Monge solutions and uniqueness in multi-marginal optimal transport with hierarchical jumps

受賞理由： 徐氏は、多段階最適輸送の枠組みを拡張し、途中空間を「スキップ」でジャンプ可能な多段階最適輸送の研究を行っており、各中間空間に孤立点を追加することで、経路の柔軟な選択を可能にし、より現実的な輸送問題に関する研究成果を論文として発表している。九州支部例会を含む多数の講演を行っている同氏は、成果賞を受賞するに相応しい研究活動を行っている。

3. 藤吉裕輔・九州大学大学院マス・フォア・イノベーション連係学府 M2

業績の題目： On the finiteness of prime trees and relation to modular forms

受賞理由： 藤吉氏は、数論を中心とした純粋数学に加え、統計学・データ分析などの応用数学についても研究を行っており、modular form の空間の構造理解に新たな視点を与え、さらに自らアルゴリズムを設計して数値的検証を行うなど、計算的手法を積極的に取り入れた研究成果を論文として発表している。多くの研究集会において積極的に講演を行っている同氏は、成果賞を受賞するに相応しい研究活動を行っている。